

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	03180-1	療育相談事業	室名	子ども総合センター子ども支援室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 民生費
	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり	科	項 児童福祉費
戦略プロジェクト		目	目 児童福祉総務費	

② 目的・概要	対象	障がいがある(うたがいがある)子どもとその家庭
	目的	障がいのある(うたがいがある)子どもへの早期フォローと、家庭への支援を行う。
	概要	発達につまずきがある子どもとその家庭を対象に、療育的視点(子どもの発達に合わせた治療教育的な関わり)を取り入れた相談を個別や集団で行う。

		27年度	28年度
①	名称	個別療育	計画値
	補足	個別の特性に応じた目標を立てて療育を実施。	実績値 56 単位 件
②	名称	集団療育	計画値
	補足	小集団でのグループで集団適応等の目標を立てて療育を実施。	実績値 350 単位 回
③	名称		計画値
	補足		実績値 単位
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績	事業費				個別の支援が必要な児童に対して個別療育を行った。 年間 56件 実人数 6人 集団での適応等目的に応じ、原則10回を1クールとし、5名の小グループで集団療育を行った。 年間 350回、実人数 35人 延べ 39人 なお、夏休み期間には、休み中の過ごし方、生活リズムづくりを目的とした、就学・入園直後である小学校1年生・幼稚園年少児を対象に集団療育(6回)を行った。		
		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,792	
			4,093	3,886	一般職員人件費 ②	3,792	平均給与額×③
	国庫支出金				所要人員 ③	0.50	
	県支出金				臨時職員人件費 ④		
	地方債				受益者負担額 ⑤		
	その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源		4,093	3,886			
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額					
	総人件費		①	3,792			
	総コスト		⑥	7,678			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	子どもの発達の特徴に合わせて訓練的な要素を取り入れた遊びをもとに、子どもの発達促進につなげた。また、主な養育者となる保護者に対して具体的な関わりの方針についてアドバイスをしながら、育児の不安、負担の軽減に努めた。今年度からは、新たに夏休み期間の小学生を対象とした療育に市内の特別支援学級教諭にアドバイザー派遣依頼し、療育に関する更なる調査・研究を行った。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	幅広い障がい種別に対応できるような療育体制の整備が必要である。(特に専門的な知識を要する肢体不自由児や医療的なケアが必要な児について)	
	【改善の方向性】	平成27年度で療育センターとの委託を終え、今後は草の実りハビリテーションセンター職員との連携により当室職員の資質向上を行っていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 子ども支援室長 宇野 勉